

(9) 環 境 局

事務事業名 合併処理浄化槽管理運営事業		予算額	19,528
局/部/課	環境局/環境共生部/環境対策課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/1目 清掃総務費	予算書P. 131	要求 19,540
<事業の目的・内容> 生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るための事業であり、合併処理浄化槽による尿及び生活雑排水の適正な処理を推進し、公共用水域等の水質の改善を図ることを目的とします。			財政局長 19,528
			市長 19,528
		査定区分	B
		前年度予算額	19,498
		増減	30
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 環境美化推進事業		予算額	79,049
局/部/課	環境局/資源循環推進部/資源循環政策課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/1目 清掃総務費	予算書P. 131	要求 79,770
<事業の目的・内容> 「さいたま市路上喫煙及び空き缶等のポイ捨ての防止に関する条例」に基づき、環境美化の推進と、安心安全できれいなまちづくりの推進を図ります。 また、環境美化に対する市民意識の更なる向上を図るため、ポイ捨て防止対策と市民参加による清掃活動を継続的に実施します。			財政局長 79,049
			市長 79,049
		査定区分	B
		前年度予算額	77,575
		増減	1,474
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 廃棄物処理対策事業（資源循環政策課）		予算額	78,592
局/部/課	環境局/資源循環推進部/資源循環政策課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/1目 清掃総務費	予算書P. 131	要求 78,679
<事業の目的・内容> 一般廃棄物の処理に関する基本計画及び実施計画や、分別収集計画などの総合計画を策定し、広く市民や事業者にごみ減量・リサイクルの推進及び啓発を図ります。			財政局長 78,592
			市長 78,592
		査定区分	B
		前年度予算額	79,287
		増減	△ 695
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 廃棄物処理対策事業（廃棄物対策課）		予算額	31,558
局/部/課	環境局/資源循環推進部/廃棄物対策課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/1目 清掃総務費	予算書P. 131	要求 31,975
<事業の目的・内容> 一般廃棄物処理基本計画に基づき、広く市民や事業者にごみ減量・リサイクルの推進及び啓発を図ります。			財政局長 31,558
			市長 31,558
		査定区分	B
		前年度予算額	28,350
		増減	3,208
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満

※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

※ 消費税については、要求時点では10%で見込んでいたため、査定で適切に精査したため、査定率に影響する場合があります。

事務事業名 安全衛生推進事業（西清掃事務所）		予算額	642
局/部/課	環境局/資源循環推進部/西清掃事務所	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/1目 清掃総務費	予算書P. 131	要求 643
<事業の目的・内容> 西清掃事務所安全衛生委員会の運営、職場の安全教育を行うことにより、事故の防止及び安全衛生の推進を図ります。			財政局長 642
			市長 642
		査定区分	B
		前年度予算額	646
		増減	△ 4
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 安全衛生推進事業（東清掃事務所）		予算額	750
局/部/課	環境局/資源循環推進部/東清掃事務所	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/1目 清掃総務費	予算書P. 131	要求 755
<事業の目的・内容> 東清掃事務所安全衛生委員会の運営、職場の安全教育を行うことにより、事故の防止及び安全衛生の推進を図ります。			財政局長 750
			市長 750
		査定区分	B
		前年度予算額	734
		増減	16
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 安全衛生推進事業（西部環境センター）		予算額	1,323
局/部/課	環境局/施設部/西部環境センター	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/1目 清掃総務費	予算書P. 131	要求 1,344
<事業の目的・内容> 労働安全衛生法及びさいたま市職員安全衛生管理規程に基づき、職員安全衛生委員会へ定期的に参加するとともに、産業医による健康相談、場内の安全パトロールを実施します。また、職員に対する安全意識の向上を図るため、啓発活動を実施します。			財政局長 1,323
			市長 1,323
		査定区分	B
		前年度予算額	1,119
		増減	204
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 安全衛生推進事業（東部環境センター）		予算額	1,619
局/部/課	環境局/施設部/東部環境センター	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/1目 清掃総務費	予算書P. 131	要求 1,638
<事業の目的・内容> 労働安全衛生法及びさいたま市職員安全衛生管理規程に基づき、職員安全衛生委員会を定期的開催するとともに、産業医による健康相談、場内の安全パトロールを実施します。また、職員に対する安全意識の向上を図るため、啓発活動を実施します。			財政局長 1,619
			市長 1,619
		査定区分	B
		前年度予算額	1,583
		増減	36
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。
 ※ 消費税については、要求時点では10%で見込んでいたため、査定で適切に精査したため、査定率に影響する場合があります。

事務事業名 安全衛生推進事業（クリーンセンター大崎）		予算額	2,150
局/部/課	環境局/施設部/クリーンセンター大崎	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/1目 清掃総務費	予算書P. 131	要求 2,177
<事業の目的・内容> 労働安全衛生法及びさいたま市職員安全衛生管理規程に基づき、職員安全衛生委員会を定期的に開催するとともに、産業医による健康相談、場内の安全パトロールを実施します。また、職員に対する安全意識の向上を図るため、啓発活動を実施します。		財政局長	2,150
		市長	2,150
		査定区分	B
		前年度予算額	1,267
		増減	883
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 安全衛生推進事業（大宮南部浄化センター）		予算額	96
局/部/課	環境局/施設部/大宮南部浄化センター	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/1目 清掃総務費	予算書P. 131	要求 98
<事業の目的・内容> 労働安全衛生法及びさいたま市職員安全衛生管理規程に基づき、職員安全衛生委員会へ定期的に参加するとともに、産業医による健康相談、場内の安全パトロールを実施します。また、職員に対する安全意識の向上を図るため、啓発活動を実施します。		財政局長	96
		市長	96
		査定区分	B
		前年度予算額	95
		増減	1
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 安全衛生推進事業（クリーンセンター西堀）		予算額	242
局/部/課	環境局/施設部/クリーンセンター西堀	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/1目 清掃総務費	予算書P. 131	要求 247
<事業の目的・内容> 労働安全衛生法及びさいたま市職員安全衛生管理規程に基づき、職員安全衛生委員会を定期的に開催するとともに、産業医による健康相談、場内の安全パトロールを実施します。また、職員に対する安全意識の向上を図るため、啓発活動を実施します。		財政局長	242
		市長	242
		査定区分	B
		前年度予算額	233
		増減	9
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 家庭吸込下水処理対策事業（大宮南部浄化センター）		予算額	242
局/部/課	環境局/施設部/大宮南部浄化センター	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/1目 清掃総務費	予算書P. 131	要求 243
<事業の目的・内容> 収集委託業者に対する業務指導や家庭吸込下水設置者への機能維持に関する適切な指導、啓発を行います。また、緊急時には収集業務を行います。		財政局長	242
		市長	242
		査定区分	B
		前年度予算額	253
		増減	△ 11
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。
 ※ 消費税については、要求時点では10%で見込んでいたため、査定で適切に精査したため、査定率に影響する場合があります。

事務事業名 家庭吸込下水処理対策事業（クリーンセンター西堀）		予算額	189
局/部/課	環境局/施設部/クリーンセンター西堀	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/1目 清掃総務費	予算書P. 131	要求 189
<事業の目的・内容> 収集委託業者に対する業務指導や家庭吸込下水設置者への機能維持に関する適切な指導、啓発を行います。また、緊急時には収集業務を行います。		財政局長	189
		市長	189
		査定区分	A
		前年度予算額	220
		増減	△ 31
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
事務事業名 一般廃棄物収集運搬処分事業		予算額	2,919,425
局/部/課	環境局/資源循環推進部/廃棄物対策課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/2目 塵芥処理費	予算書P. 133	要求 2,947,022
<事業の目的・内容> 一般廃棄物(家庭ごみ)の適正な収集・処分を行い、市民の快適な生活環境の保全を図ります。		財政局長	2,919,425
		市長	2,919,425
		査定区分	B
		前年度予算額	2,808,481
		増減	110,944
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 西清掃事務所収集・管理事業		予算額	72,165
局/部/課	環境局/資源循環推進部/西清掃事務所	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/2目 塵芥処理費	予算書P. 133	要求 78,518
<事業の目的・内容> 市民に清潔で住みやすい生活環境を提供するために、市民から排出されるごみを迅速に収集運搬し、都市環境の美化及び衛生の保持を図ります。		財政局長	72,165
		市長	72,165
		査定区分	B
		前年度予算額	72,557
		増減	△ 392
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 東清掃事務所収集・管理事業		予算額	66,205
局/部/課	環境局/資源循環推進部/東清掃事務所	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/2目 塵芥処理費	予算書P. 133	要求 67,346
<事業の目的・内容> 市民に清潔で住みやすい生活環境を提供するために、市民から排出されるごみを迅速に収集運搬し、都市環境の美化及び衛生の保持を図ります。		財政局長	66,205
		市長	66,205
		査定区分	B
		前年度予算額	60,989
		増減	5,216
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満

※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

※ 消費税については、要求時点では10%で見込んでいたため、査定で適切に精査したため、査定率に影響する場合があります。

事務事業名 大崎清掃事務所収集・管理事業		予算額	54,784
局/部/課	環境局/資源循環推進部/大崎清掃事務所	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/2目 塵芥処理費	予算書P. 133	要求 67,848
<事業の目的・内容> 市民に清潔で住みやすい生活環境を提供するために、市民から排出されるごみを迅速に収集運搬し、都市環境の美化及び衛生の保持を図ります。		財政局長	54,784
		市長	54,784
		査定区分	B
		前年度予算額	43,469
		増減	11,315
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 環境整備センター維持管理事業		予算額	284,863
局/部/課	環境局/施設部/環境施設課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/2目 塵芥処理費	予算書P. 133	要求 292,166
<事業の目的・内容> 市が所有管理するごみ焼却施設から搬入される焼却灰等の一般廃棄物を、市内2か所の最終処分場で安全に衛生的に埋立処分するとともに、排出される浸出水を適正に処理します。 また、市内6か所の埋立完了地を適正に維持管理します。		財政局長	284,863
		市長	284,863
		査定区分	B
		前年度予算額	292,028
		増減	△ 7,165
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 西部環境センター維持管理事業		予算額	1,564,525
局/部/課	環境局/施設部/西部環境センター	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/2目 塵芥処理費	予算書P. 133	要求 1,629,840
<事業の目的・内容> 市民生活環境の向上を図るため、可燃・不燃ごみ等の処理及び焼却灰の熔融処理を適切に行うとともに、ごみ処理施設の性能維持及び公害等の定常的な発生防止に努めます。		財政局長	1,564,525
		市長	1,564,525
		査定区分	B
		前年度予算額	1,295,957
		増減	268,568
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 西部環境センター残渣処分事業		予算額	159,535
局/部/課	環境局/施設部/西部環境センター	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/2目 塵芥処理費	予算書P. 133	要求 160,765
<事業の目的・内容> 最終処分場の延命化・環境負荷の低減を図るため、一般廃棄物の中間処理後に生じた熔融スラグの有効利用を進めるほか、熔融施設定期整備による休炉中は焼却灰をセメントの原料として資源化する等の再資源化処理を行います。		財政局長	159,535
		市長	159,535
		査定区分	B
		前年度予算額	174,638
		増減	△ 15,103
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満

※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

※ 消費税については、要求時点では10%で見込んでいたため、査定で適切に精査したため、査定率に影響する場合があります。

事務事業名 東部環境センター維持管理事業		予算額	920,059
局/部/課	環境局/施設部/東部環境センター	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/2目 塵芥処理費	予算書P. 133	要求 953,423
<事業の目的・内容> 市民生活環境の向上を図るため、可燃・不燃ごみ等の処理を適切に行うとともに、ごみ処理施設の性能維持及び公害等の定常的な発生防止に努めます。		財政局長	920,059
		市長	920,059
		査定区分	B
		前年度予算額	931,835
		増減	△ 11,776
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 東部環境センター残渣処分事業		予算額	341,673
局/部/課	環境局/施設部/東部環境センター	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/2目 塵芥処理費	予算書P. 133	要求 345,222
<事業の目的・内容> 最終処分場の延命化・環境負荷の低減を図るため、一般廃棄物の中間処理後に生じた焼却灰等をセメントの原料として資源化する等の再資源化処理を行います。		財政局長	341,673
		市長	341,673
		査定区分	B
		前年度予算額	296,042
		増減	45,631
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 クリーンセンター大崎維持管理事業		予算額	1,405,252
局/部/課	環境局/施設部/クリーンセンター大崎	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/2目 塵芥処理費	予算書P. 133	要求 1,461,242
<事業の目的・内容> 市民生活環境の向上を図るため、可燃・不燃ごみ等の処理を適切に行うとともに、ごみ処理施設の性能維持及び公害等の定常的な発生防止に努めます。		財政局長	1,405,252
		市長	1,405,252
		査定区分	B
		前年度予算額	1,673,471
		増減	△ 268,219
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 クリーンセンター大崎残渣処分事業		予算額	312,080
局/部/課	環境局/施設部/クリーンセンター大崎	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/2目 塵芥処理費	予算書P. 133	要求 314,957
<事業の目的・内容> 最終処分場の延命化・環境負荷の低減を図るため、一般廃棄物の中間処理後に生じた焼却灰をセメントの原料として資源化する等の再資源化処理を行います。		財政局長	312,080
		市長	312,080
		査定区分	B
		前年度予算額	484,212
		増減	△ 172,132
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満

※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

※ 消費税については、要求時点では10%で見込んでいたため、査定で適切に精査したため、査定率に影響する場合があります。

事務事業名 岩槻環境センター維持管理事業		予算額	38,760
局/部/課	環境局/施設部/岩槻環境センター	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/2目 塵芥処理費	予算書P. 133	要求 42,991
<事業の目的・内容> 施設の閉鎖後における適切な管理を行います。		財政局長	38,791
		市長	38,791
		査定区分	B
		前年度予算額	489,088
		増減	△ 450,328
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 用地先行取得事業特別会計繰出金（環境施設課）		予算額	18,191
局/部/課	環境局/施設部/環境施設課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/2目 塵芥処理費	予算書P. 133	要求 18,850
<事業の目的・内容> 公共用地取得に伴う償還金について、一般会計から繰出しを行います。		財政局長	18,191
		市長	18,191
		査定区分	B
		前年度予算額	16,108
		増減	2,083
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 し尿処理事業		予算額	421,342
局/部/課	環境局/資源循環推進部/廃棄物対策課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/3目 し尿処理費	予算書P. 133	要求 425,209
<事業の目的・内容> 市民、事業者等を対象に、生活環境に支障が生じないように、し尿等を収集します。		財政局長	421,342
		市長	421,342
		査定区分	B
		前年度予算額	422,788
		増減	△ 1,446
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 大宮南部浄化センター維持管理事業		予算額	254,821
局/部/課	環境局/施設部/大宮南部浄化センター	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/3目 し尿処理費	予算書P. 133	要求 259,378
<事業の目的・内容> し尿・浄化槽汚泥及び家庭吸込下水を適切に処理するため、施設の運転、日常点検及び定期整備を行い、処理水を適正な水質にして河川に放流します。 また、センターに付属する環境学習施設を管理、運営します。		財政局長	254,821
		市長	254,821
		査定区分	B
		前年度予算額	258,697
		増減	△ 3,876
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満

※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

※ 消費税については、要求時点では10%で見込んでいたため、査定で適切に精査したため、査定率に影響する場合があります。

事務事業名 クリーンセンター西堀維持管理事業		予算額 151,390
局/部/課	環境局/施設部/クリーンセンター西堀	[要求と査定経過]
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/3目 し尿処理費 予算書P. 133	要求 155,861
<事業の目的・内容> し尿・浄化槽汚泥及び家庭吸込下水を適切に処理するため、施設の運転、日常点検及び定期整備を行い、処理水を適正な水質にして河川に放流します。 また、緊急時等の処理機能を維持します。		財政局長 151,390
		市長 151,390
		査定区分 B
		前年度予算額 161,881
査定の考え方 既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		増減 Δ 10,491
事務事業名 リサイクル推進事業		予算額 96,620
局/部/課	環境局/資源循環推進部/廃棄物対策課	[要求と査定経過]
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/4目 リサイクル推進費 予算書P. 135	要求 96,853
<事業の目的・内容> 資源の循環を推進するため、ごみ減量及びリサイクルについての啓発活動を行います。		財政局長 96,620
		市長 96,620
		査定区分 B
		前年度予算額 97,259
査定の考え方 既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		増減 Δ 639
事務事業名 資源分別収集運搬処理事業		予算額 2,059,262
局/部/課	環境局/資源循環推進部/廃棄物対策課	[要求と査定経過]
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/4目 リサイクル推進費 予算書P. 135	要求 2,078,376
<事業の目的・内容> ごみ減量及びリサイクルの推進を図るため、市民によって分別排出された資源物(びん、かん、ペットボトル、食品包装プラスチック、古紙類、繊維)の運搬、中間処理及び再資源化を行います。		財政局長 2,059,262
		市長 2,059,262
		査定区分 B
		前年度予算額 2,251,325
査定の考え方 既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		増減 Δ 192,063
事務事業名 リサイクル基金活用事業		予算額 71,732
局/部/課	環境局/資源循環推進部/廃棄物対策課	[要求と査定経過]
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/4目 リサイクル推進費 予算書P. 135	要求 72,741
<事業の目的・内容> リサイクル基金を活用し、環境教育の普及、リサイクルの啓発及び推進を図ります。		財政局長 71,732
		市長 71,732
		査定区分 B
		前年度予算額 71,947
査定の考え方 既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		増減 Δ 215

[査定区分] A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%~100%未満 C:査定率60%~80% D:査定率40%~60% E:査定率40%未満
※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。
※ 消費税については、要求時点では10%で見込んでいたため、査定で適切に精査したため、査定率に影響する場合があります。

事務事業名 東部リサイクルセンター維持管理事業		予算額	161,450
局/部/課	環境局/施設部/東部環境センター	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/4目 リサイクル推進費	予算書P. 135	要求 163,465
<事業の目的・内容> 市内の家庭から分別排出された資源物のうち、缶類、びん類をそれぞれ選別処理して再資源化を図り、回収資源の還元によるごみの減量化を図ります。また、家庭で不用になった家具類について「リサイクル品展示販売会」を開催し、リサイクル活動の推進を図ります。		財政局長	161,450
		市長	161,450
		査定区分	B
		前年度予算額	138,081
		増減	23,369
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 一般廃棄物処理施設整備事業		予算額	38,411
局/部/課	環境局/施設部/環境施設課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/5目 施設整備費	予算書P. 135	要求 73,652
<事業の目的・内容> 将来にわたり適正かつ安全に安定して一般廃棄物の処理・処分を行えるように、施設整備の企画・調査・検討を行うとともに、環境への負荷の少ない循環型社会の構築を目指し、資源化率の向上、最終処分量の低減等の推進につながる廃棄物処理施設の整備計画を行います。		財政局長	38,966
		市長	38,411
		査定区分	D
		前年度予算額	123,275
		増減	△ 84,864
査定の考え方	事業手法、実施時期・箇所等事業内容を精査しました。		
事務事業名 一般廃棄物処理施設周辺環境整備事業		予算額	0
局/部/課	環境局/施設部/環境施設課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/5目 施設整備費	予算書P. ー	要求 10,672
<事業の目的・内容>		財政局長	10,480
		市長	10,480
		査定区分	B
		前年度予算額	0
		増減	0
査定の考え方	事業手法、実施時期・箇所等事業内容を精査しました。		
事務事業名 一般廃棄物処理施設整備基金積立金		予算額	24
局/部/課	環境局/施設部/環境施設課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/5目 施設整備費	予算書P. 135	要求 24
<事業の目的・内容> 一般廃棄物処理施設整備を行うため積立てを行います。		財政局長	24
		市長	24
		査定区分	A
		前年度予算額	24
		増減	0
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。
 ※ 消費税については、要求時点では10%で見込んでいたため、査定で適切に精査したため、査定率に影響する場合があります。

事務事業名 新クリーンセンター整備事業		予算額	1,647,453
局/部/課	環境局/施設部/新クリーンセンター建設準備室	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/5目 施設整備費	予算書P. 135	要求 1,745,602
<事業の目的・内容> 高効率で熱回収し発電等を行う熱回収施設、リサイクルセンターの供用を開始します。また、併設する管理・余熱体験施設には、環境啓発ゾーン及び廃棄物を焼却した際に発生する熱エネルギーを利用した温浴施設等を設置し、市民の方々にご利用いただける施設として維持管理運営を行います。		財政局長	1,741,379
		市長	1,725,999
		査定区分	B
		前年度予算額	15,527,186
		増減	△ 13,879,733
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 西部環境センター周辺環境整備事業		予算額	44,214
局/部/課	環境局/施設部/西部環境センター	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/5目 施設整備費	予算書P. 135	要求 44,374
<事業の目的・内容> 地元からの要望に基づき、搬入道路の拡幅整備を行います。		財政局長	44,214
		市長	44,214
		査定区分	B
		前年度予算額	7,258
		増減	36,956
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 環境活動推進事業		予算額	2,246
局/部/課	環境局/環境共生部/環境総務課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/3項 環境対策費/1目 環境対策総務費	予算書P. 137	要求 2,432
<事業の目的・内容> 持続可能な社会の実現に向けて、一人ひとりが環境に関心を持ち、自分に何ができるかを考え、環境の保全や創造につながる行動を始めるきっかけとなる環境教育・学習の機会づくりに取り組みます。		財政局長	2,246
		市長	2,246
		査定区分	B
		前年度予算額	1,900
		増減	346
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 自然保護事業		予算額	4,570
局/部/課	環境局/環境共生部/環境総務課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/3項 環境対策費/1目 環境対策総務費	予算書P. 137	要求 5,180
<事業の目的・内容> 様々な生きものが生息する自然環境や、市民の安全・安心、快適な生活環境を保全するため、特定外来生物及び有害鳥獣の防除、空き地及び空き家の適正管理に必要な助言、指導等を実施します。		財政局長	4,570
		市長	4,570
		査定区分	B
		前年度予算額	4,647
		増減	△ 77
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満

※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

※ 消費税については、要求時点では10%で見込んでいたため、査定で適切に精査したため、査定率に影響する場合があります。

事務事業名 環境政策推進事業		予算額	13,156
局/部/課	環境局/環境共生部/環境総務課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/3項 環境対策費/1目 環境対策総務費	予算書P. 137	要求 13,259
<事業の目的・内容> 望ましい環境像「自然と共生し持続可能な環境を未来ある子どものために伝える都市(まち)」を実現するため、「さいたま市環境基本計画」に基づき、環境の保全及び創造に関する施策を計画的かつ総合的に推進するとともに、施策の進行管理を行います。		財政局長	13,156
		市長	13,156
		査定区分	B
		前年度予算額	13,808
		増減	△ 652
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 地球温暖化対策事業		予算額	1,848,274
局/部/課	環境局/環境共生部/地球温暖化対策課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/3項 環境対策費/1目 環境対策総務費	予算書P. 137	要求 2,042,798
<事業の目的・内容> 地球温暖化対策として、その原因となる二酸化炭素等の温室効果ガス排出量を削減することを目的に、本市のエネルギー政策等により、市民・事業者とともに、再生可能エネルギー等の利用促進及び省エネルギー化の推進を図ります。		財政局長	1,927,640
		市長	1,892,732
		査定区分	B
		前年度予算額	1,487,583
		増減	360,691
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 環境情報システム整備事業		予算額	52,967
局/部/課	環境局/環境共生部/環境対策課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/3項 環境対策費/2目 環境対策費	予算書P. 137	要求 53,375
<事業の目的・内容> 規制対象事業者等の情報や大気常時監視等の情報・データを「環境情報システム」により適切に管理・維持し、市民への迅速な情報提供により安全・安心を確保します。		財政局長	52,967
		市長	52,967
		査定区分	B
		前年度予算額	53,447
		増減	△ 480
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 環境監視事業		予算額	40,037
局/部/課	環境局/環境共生部/環境対策課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/3項 環境対策費/2目 環境対策費	予算書P. 137	要求 41,458
<事業の目的・内容> 工場、事業場に対して環境法令等の遵守を徹底することで、公害の未然防止を図り、市民の安全・安心を確保します。		財政局長	40,037
		市長	40,037
		査定区分	B
		前年度予算額	42,070
		増減	△ 2,033
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。
 ※ 消費税については、要求時点では10%で見込んでいたため、査定で適切に精査したため、査定率に影響する場合があります。

事務事業名 環境保全政策推進事業		予算額	9,294
局/部/課	環境局/環境共生部/環境対策課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/3項 環境対策費/2目 環境対策費	予算書P. 137	要求 11,467
<事業の目的・内容> 現在及び将来の市民の安全かつ快適な生活環境を確保するため、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進します。		財政局長	9,294
		市長	9,294
		査定区分	B
		前年度予算額	6,176
		増減	3,118
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 交通環境対策事業		予算額	4,531
局/部/課	環境局/環境共生部/環境対策課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/3項 環境対策費/2目 環境対策費	予算書P. 137	要求 4,570
<事業の目的・内容> 地球温暖化や大気汚染を防止するため、自動車から公共交通機関等への転換、エコドライブの推進等により、自動車から排出される二酸化炭素と大気汚染物質の削減を進めます。		財政局長	4,531
		市長	4,531
		査定区分	B
		前年度予算額	4,611
		増減	△ 80
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 環境未来都市推進事業		予算額	47,889
局/部/課	環境局/環境共生部/環境未来都市推進課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/3項 環境対策費/2目 環境対策費	予算書P. 137	要求 54,938
<事業の目的・内容> 運輸部門からの二酸化炭素排出削減対策として、電気自動車(EV)普及施策「E-KIZ UNA Project」等を推進するとともに、「次世代自動車・スマートエネルギー特区推進事業」と連携した取組を実施し、EVを始めとした次世代自動車の普及を促進します。		財政局長	47,889
		市長	47,889
		査定区分	B
		前年度予算額	35,944
		増減	11,945
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 次世代自動車・スマートエネルギー特区推進事業		予算額	274,627
局/部/課	環境局/環境共生部/環境未来都市推進課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/3項 環境対策費/2目 環境対策費	予算書P. 137	要求 1,100,366
<事業の目的・内容> 総合特区制度を活用し、「徹底的な低炭素化」「エネルギーセキュリティの確保」「誰もが自由に移動できる手段の確保」に取り組み、「暮らしやすく、活力のある都市として、継続的に成長する環境未来都市」の実現を目指します。		財政局長	274,627
		市長	274,627
		査定区分	E
		前年度予算額	202,907
		増減	71,720
査定の考え方	事業手法、実施時期・箇所等事業内容を精査しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満

※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

※ 消費税については、要求時点では10%で見込んでいたため、査定で適切に精査したため、査定率に影響する場合があります。

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 産業廃棄物対策事業		予算額	81,779
局/部/課	環境局/資源循環推進部/産業廃棄物指導課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	4款 衛生費/3項 環境対策費/2目 環境対策費	予算書P. 137	要求 84,376
<事業の目的・内容> 産業廃棄物の適正処理及び3R(発生抑制、再使用、再生利用)を促進することにより、良好な生活環境を維持するとともに、環境への負荷が少ない循環型社会の形成を推進します。			財政局長 81,779
			市長 81,779
		査定区分	B
		前年度予算額	65,193
		増減	16,586
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%~100%未満 C:査定率60%~80% D:査定率40%~60% E:査定率40%未満
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。
 ※ 消費税については、要求時点では10%で見込んでいたため、査定で適切に精査したため、査定率に影響する場合があります。